

# 遠賀町内中小企業景況調査 (令和5年10月-12月期)

調査：遠賀町商工会

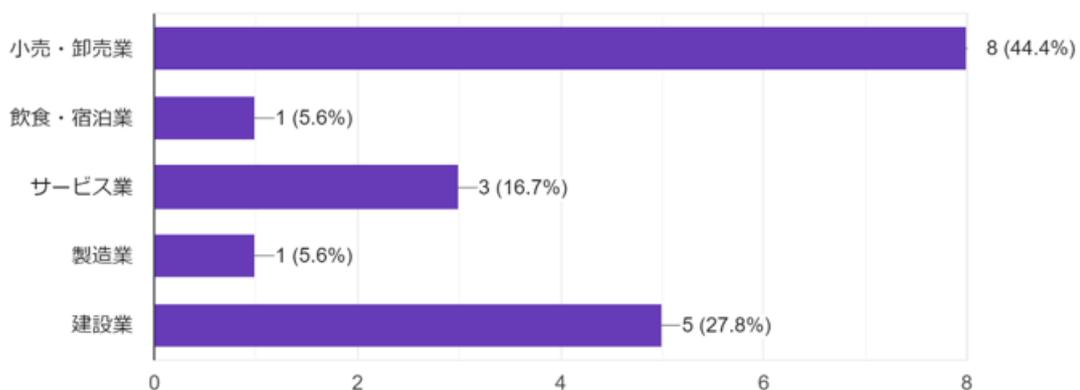
〔調査要領〕

- ① 調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによるWEB回答
- ② 調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③ 調査時点 令和5年6月1日

《集計結果》

## 1. 貴事業所の業種を教えてください

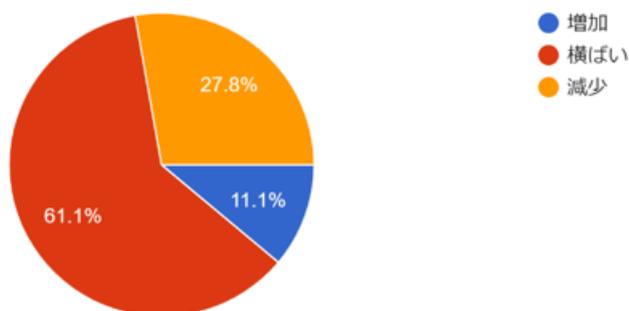
18件の回答



今回のアンケートの回答は、約7割が商業・サービス業で占められており、製造業、建設業が前四半期に比べてやや少なくなっている。

## 2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

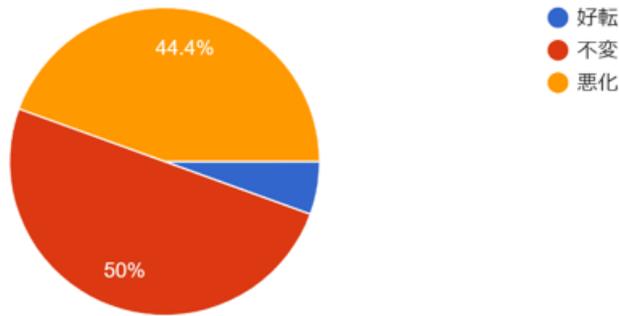
18件の回答



前年同期（10～12月期）は、コロナ禍からの回復傾向が見られたが、その後の物価高騰の影響が足元で拡大し今期は、横ばいと減少と回答した企業が増えている。これは、今回の調査が商業・サービス業の割合が高いことにも関連していると思われる。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

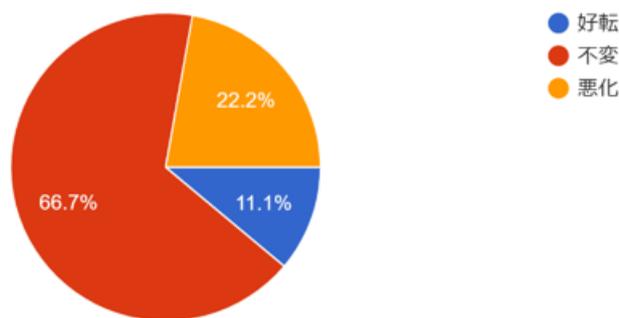
18件の回答



利益の状況についても売上の現状と同様の傾向が見て取れ、その要因として物価高騰の影響が予想以上に続いていることの表れとも考えられる。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

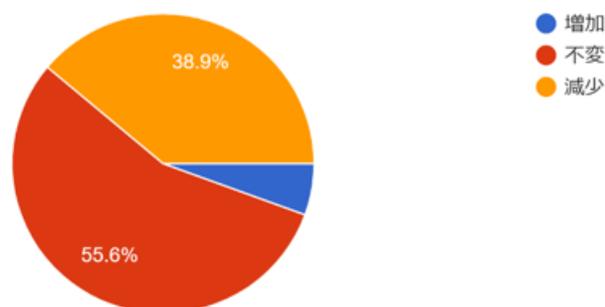
18件の回答



資金繰りについては物価高騰やコロナ融資の返済開始による影響により、前四半期（7～9月期）より悪化と回答した企業が増えており、この状況が続けばリスクを求められる企業が増加することが懸念される。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

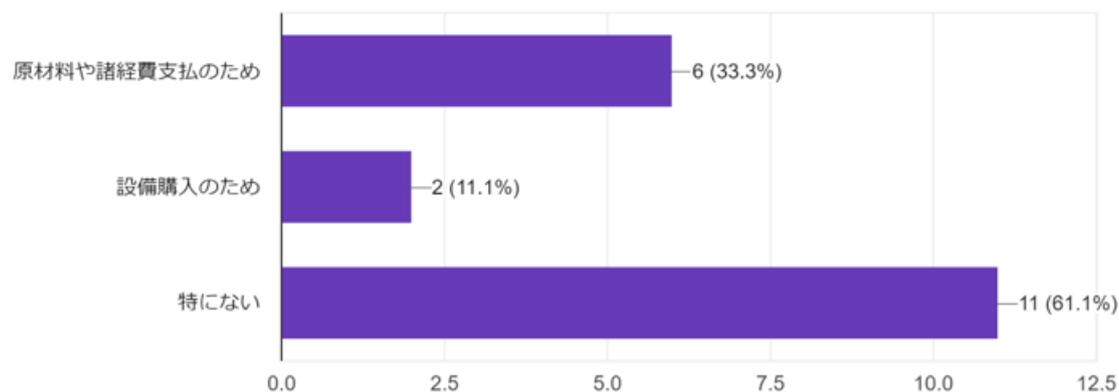
18件の回答



従業員数は、前年同期と比較して減少と回答した企業が約4割と増加しており、不構造的な人手不足に加え、賃上げ圧力による大手量販店等の時給の高さに対抗できず、人材確保がままならない状況が見て取れる。

## 6 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

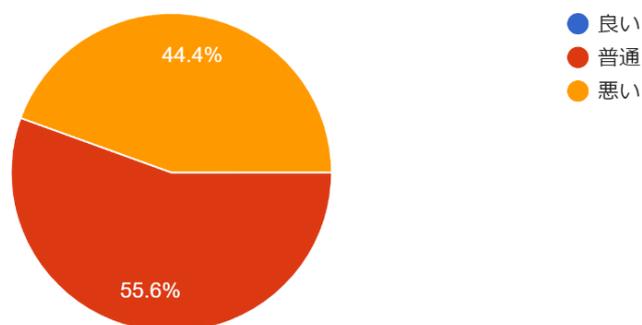
18件の回答



新たな資金調達については、約3分の1の企業が「原材料や諸経費の支払いのため」に必要と回答しており、現状の利益のみでは資金が捻出できていないことが見て取れる。このことから、事業継続のためには、一定程度の価格転嫁を早急に実現する必要性も伺える。

## 7. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

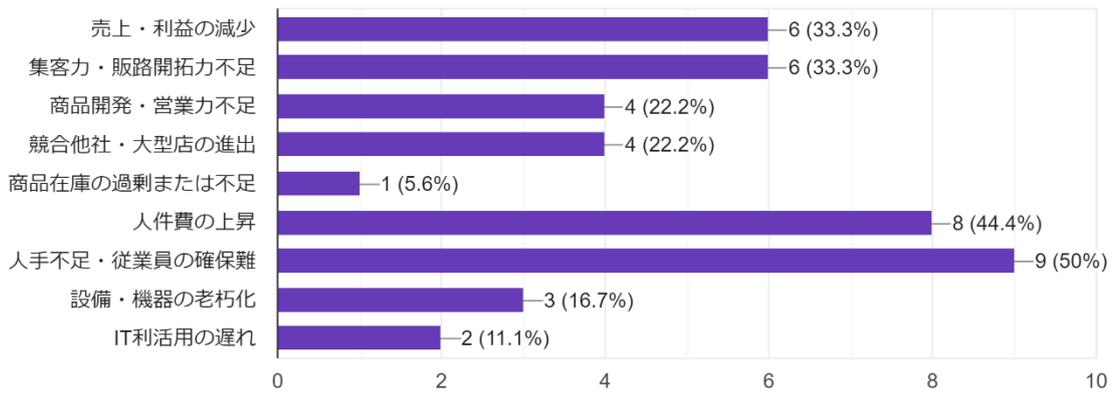
18件の回答



景気は、コロナ禍の収束により一時的には回復傾向が見られたものの、その後は円安や物価高騰の影響も相まってやや「悪化」の兆しが窺える。大企業が順調に業績回復している現状に鑑みれば、国や県の中小・小規模企業への一定の支援が求められるところである。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

18件の回答



課題として、やはり「人手不足・従業員の確保難」と「人件費の上昇」を約半数の企業が挙げていることから限られた人数で事業を継続していくためには効率化や付加価値アップによる労働生産性向上が必要になる。そういう観点からの国や県に生産性向上に取り組む企業への支援策の拡充を求めたい。